

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	自転車駐車場施設管理費			担当	市民生活部 交通安全対策課	
事業区分	通常事業	—	問い合わせ先	048-259-9003	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	59	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-2 安全・安心・快適な移動を支える交通環境の整備-③ 交通安全対策の充実				
根拠法令等	自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律、自転車駐車場条例				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	自転車等(道路交通法に規定する自転車及び50cc以下の原動機付自転車)利用者	市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	自転車利用者の利便性向上を図り、駐車秩序を維持するとともに、自転車等の放置を防止することで、駅周辺における交通の安全確保および都市の美観保持を図る。	自転車駐車場14箇所・自転車置場18箇所の利用申請・登録や施設の管理を行う。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	新年度(令和3年10月1日～)利用者の置場登録受付業務をコロナ禍のため引き続き郵送にて行った。自転車置場の当初登録の手数料の支払いにコンビニエンスストア等で支払いのできる納付書を使用した。自転車駐車場の委託業者が利用者に適切な対応を行うよう適宜指導を行った。駐車場、置場の老朽箇所の修繕を行った。	自転車利用者の利便性向上に資するとともに、駅周辺における交通の安全および都市の美観が保たれ、良好な生活環境の維持に寄与した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	自転車置場および自転車駐車場利用者数			指標・目標値の説明(算定式)	指標: 自転車置場および自転車駐車場の一日の利用者数 目標値: 前年比95%以上を維持				
	単位	台	指標の種別	結果		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値					21,199.00	20,672.00	17,104.00	16,909.00	0.00
	実績値・達成状況					21,760.00	達成	18,004.00	未達成	17,799.00
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	2款	1項	24目	1細目	1細々目	自転車駐車場施設管理費				
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度	令和5年度				
予算額(A)	450,464	468,535		464,835		652,004	652,004				
決算額(B)=(C)+(D)	449,050	460,713		459,029							
財源※	特定財源(C)	409,830	345,339		360,405		411,366				
	一般財源(D)	39,220	115,374		98,624		240,638				
概算人件費(E)	14,615	14,615		14,615		14,245	14,245				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.85	0.00	1.85	0.00	1.85	0.00	1.85	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	463,665	475,328		473,644		666,249	666,249				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
52 /60	経費削減の観点から、民間活用を含めた運営方法の見直しについて検討を行っているが、多くの施設において、建物の老朽化が進んでいるため、運営方法の見直しを図る際に、多額の整備費用が発生するなどの懸念もあることから、別の視点による更なる検討を行っていく必要がある。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

部会名	第一部会	担当課	交通安全対策課
事業名	自転車駐車場施設管理費		

I 定量評価（評価の各観点について、一定の基準に基づいた数値による評価）

	評価の観点					選択肢	
	①趣旨・目的及び達成手段	②事業の効果	③事業の効率化	④課題解決への取り組み	⑤今後の事業の方向性		
A委員	2	2	2	2	2	4	適正 適正な事業運営がなされている
B委員	3	2	2	2	4	3	概ね 適正 工夫や改善の余地があるが、概ね適正な事業運営がなされている
C委員	3	2	2	2	3	2	改善の 必要あり 概ねこのままの事業運営で差し支えないが、工夫や改善が必要である
D委員	3	3	3	3	3		
E委員	3	3	3	2	3	1	抜本的 見直し 抜本的に事業の運営を見直したほうがよい
部会全体	3	2	2	2	3		

II 定性評価（評価の各観点について、意見やアドバイス等のコメントによる評価）

No.	評価の観点	評価コメント
1	①趣旨・目的及び達成手段	自転車対策の必要性はある。 他自治体に比べ経費が多いように感じられるので、経営手法の改善が必要。
2	①趣旨・目的及び達成手段	駐車場によって利用率の差が激しいので、個別に見直す必要がある。
3	①趣旨・目的及び達成手段	経営が赤字であったとしても、住民サービス上、必要と考えるが、効率の悪さが顕著な駐車場については個別に見直しが必要と思われる。
4	②事業の効果	利用率が低いなど対策が必要と感じる駐車場と実際に市が対策をしようとしている駐車場が異なるように感じる。駐車場の規模の適正化等を検証し、委託料についても実績に則した金額の検討が必要と思われる。
5	②事業の効果	立地は大きな要因だが、施設の安全性、利便性も見直し、市民が使いたいと思える駐車場に改善してほしい。 数を絞り、本当に必要な駐車場だけ残して、そこに費用をかけることも検討してほしい。
6	②事業の効果	利用率の低さや採算的に厳しいと見られている駐車場については、施設の継続について再度検討する必要があると思われる。
7	③事業の効率化	主体の代替性が高い。なぜ赤字なのか分析が不足。
8	③事業の効率化	委託料が適正かどうかの判断が難しい。
9	④課題解決への取り組み	指定管理者等、民間活用が検討されていることは良いことであるため、今後も是非進めてほしい。

No.	評価の観点	評価コメント
10	④課題解決への取り組み	現状維持を前提とせず、施設を継続するうえで思い切った取捨選択をしても良いと思う。
11	④課題解決への取り組み	川口駅周辺まちづくりビジョンや隣接駐車場との関係等、駐輪場だけで問題を解決できない場所もあることは理解できるが、それも踏まえて数パターンのビジョンは必要だと考える。
12	④課題解決への取り組み	幸町自転車駐車場については、再開発の予定がある程度決まるまで、廃止の方向が望ましいと思う。
13	⑤今後の事業の方向性	事業の必要性は認められるが、市が直営で運営しなくても良いと思う。民間活用等で経費をかけず、進めてほしい。
14	⑤今後の事業の方向性	事業自体は必要あるものだと思う。コロナ禍による影響が多大であると思われるので、その事も踏まえて将来の方向性を考える必要があると思う。
15	⑤今後の事業の方向性	事業の必要性はある。機械化の導入や民間活用を積極的に進めてみてはどうか。
16	⑤今後の事業の方向性	自転車駐車場整備センターの活用はメリットが多いと思われるので、ぜひ活用してほしい。
17	⑥事業全体を通した総合的な評価	恒常的に利用率の低い駐車場は廃止すべきだと思う。
18	⑥事業全体を通した総合的な評価	今後、各施設も修繕費の増加が予想されることから、自転車駐車場整備センターや指定管理者制度を利用し、費用対効果が上がる運営をしていただきたい。

【評価結果まとめ】

①趣旨・目的及び達成手段	
3 概ね適正	運営について、現状維持というわけではなく、駐車場ごとに見直しを行う必要がある。
②事業の効果	
2 改善の必要あり	施設の立地、安全性、利便性も見直したうえで、実際に必要な駐車場を限定し、その場所に費用をかけ整備していく必要がある。
③事業の効率化	
2 改善の必要あり	委託料について規模や場所によって適正かどうか分析したうえで見直してほしい。 なお、主体の代替性ということで、センターや指定管理者等、民間活用導入の検討については、事業の効率化を図るうえで有効と考えられるため、今後も進めていただきたい。
④課題解決への取り組み	
2 改善の必要あり	現状維持で進めている感じがするため、取捨選択をしたうえで、必要のない駐車場は休止や廃止を検討する必要がある。
⑤今後の事業の方向性	
3 概ね適正	機械化への移行や、民間活用を導入するなど、より一層、効率的な手法を用いた運営に努める必要がある。
⑥事業全体を通した総合的な評価	
	利用率の低い自転車駐車場については見直しや廃止も含めた検討をすべきである。